

都市構造可視化

～地方行政での活用～

大分県 日田市
土木建築部 都市整備課

i-都市交流会議2020

1

1. 課内で研修

①都市構造可視化について知ってもらう。

□都市構造可視化とは？

統計データ+GIS技術 → 目指すべき都市構造を議論するためのツール

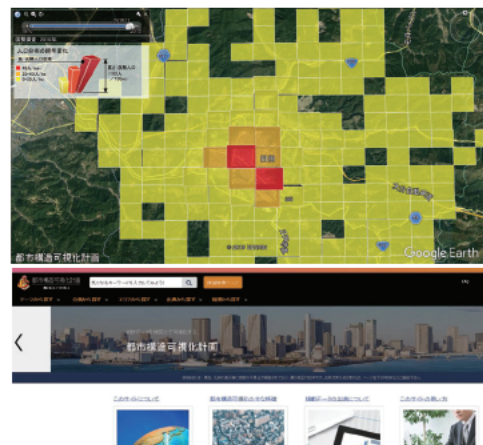
→ ウェブサイト+Google Earth

□都市構造可視化の特徴

三次元表示 → 経年変化アニメーション → クロス分析表示 → ストリートビュー

□ウェブサイトの機能

(職場研修の様子)



i-都市交流会議2020

2

2. 課内研修での意見

課内研修を通じ可視化について意見を求めた。

- ①このようなツールがあることを知らなかった。とても興味深い。
- ②都市計画に限らず、公共工事や地方行政の分野でも役立ちそう。
- ③人口分布をはじめ統計データの経年変化はわかりやすくて良い。
- ④個人的に遊ぶのに欲しい。子供から大人まで遊べるツールだと思う。
- ⑤3Dマウスが高価で個人的に購入は難しいが安価であれば個人で購入して使いたい。職場購入してもらえないだろうか？
- ⑥マスタープランをはじめ、各種計画を検討・作成するうえで有効なツールであり、活用したい。
- ⑦国土交通省のビックデータとのリンクについて知りたい。
- ⑧公共工事の図面データとリンクできるのか知りたい。

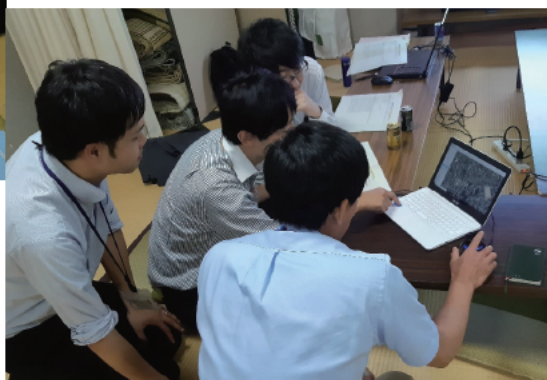
3. 大分県区域マスタープラン見直し協議で活用-1

机上の協議が可視化を用いることで・・・。



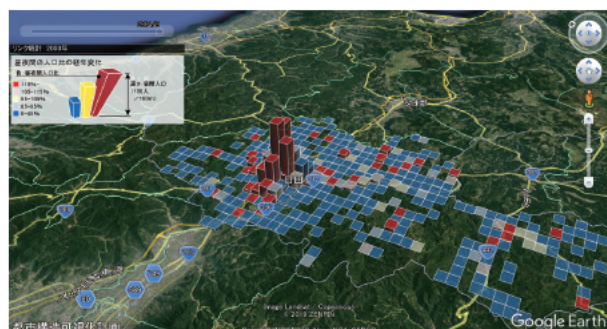
大分県職員へ都市構造可視化を知っていただくとともに、興味を持ってもらう良い機会となった。

大分県日田都市計画区域マスタープラン見直しの大分県職員との協議において、統計データと地図情報をもとに見直し内容を確認。書面のみでの協議に比べ、現地の状況や統計データを参考にとても中身の濃い協議ができた。



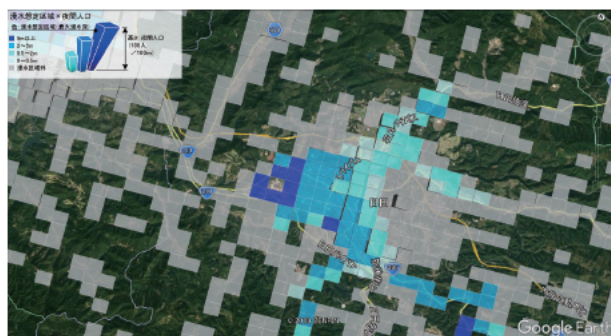
3.大分県区域マスタープラン見直し協議で活用-2

見えない部分がわかりやすく見えてくる。



人口分布の経年変化を用いて、人口流動と地域別の特徴を確認できた。

浸水認定区域を用いて、危険箇所等の確認ができた。



4.高校生のインターンシップでの活用

日田市では地元の工業高校の2年生が就業体験として、市役所で働くことの意義や将来の職に対する知識や技術を習得等を目的に行っており、職業人としての心構えを学ぶ機会としております。昨年は資料のみで都市計画について、説明を行いましたでしたが今年は都市構造可視化ツールを実体験してもらいながら、都市計画について学んでもらった。



職員が操作方法をレクチャー、その後実際に高校生が操作し、自分の家を検索。3Dマウスに

職員が操作方法をレクチャー、その後実際に高校生が操作し、新たなツールを体験しました。



5.まとめ

課内研修では都市構造可視化について、とても利用価値があるツールであることを認識してもらうとともに、活用方法についても議論できたことが大変良かった。また、実際に県との協議やインターンシップ等で利用させてもらい、都市構造可視化の利用価値が高いことを体験できた。今後このツールを地方行政で活用していき、市民サービスへつなげて行きたいと感じました。